

# 令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀県立 三養基高等学校 児童数 580 人	担当者名	古川 祿
住所	郵便番号 849-0101 三養基郡みやき町大字原古賀 300-1	電話番号	0942(94)2345

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	燃え上がれ三高魂～生徒図書委員会で読書活動を盛り上げよう～
	取組期間	令和4年4月11日 ～ 令和4年11月30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組を始めた日から、令和4年11月30日までの取組とする。

## II.取組後の評価

評 価	取組人数	582 人	実施日数	233 日	読書冊数	1518 冊	連携した団体数	4 団体
	取組内容（概要）	<p>①日頃の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒図書委員による図書館のレイアウト</li> <li>・「リクエスト本」調査</li> <li>・多読者賞</li> <li>・図書館だよりの発行（生徒図書委員による「教育実習生号」）</li> <li>・「新刊本」「本屋大賞」「芥川賞」「直木賞」等の紹介</li> </ul> <p>②文化祭「養基祭」での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生方のおすすめ Book」掲示</li> <li>・「POP コンクール」開催</li> <li>・「古本市」による雑誌の配布</li> </ul> <p>③学校行事での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館オリエンテーション</li> <li>・図書委員による校内読書会の実施</li> </ul> <p>④授業での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビブリオバトル大会</li> <li>・読書感想文・読書感想画</li> </ul> <p>⑤地域との取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやき町立図書館「にくきゅう文庫」へのリクエスト</li> <li>・三養基高校生が作った POP と POP 立ての寄贈</li> <li>・みやき町立図書館より「中高生へのおすすめ本」の案内</li> <li>・みやき町立図書館「本で学ぼう SDG s」</li> <li>・九州大谷短期大学 POP コンテストへの応募</li> </ul>						
	工夫したこと	<p>①日頃の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒図書委員のメンバーで「ミステリーコーナー」「小論文にお薦めの本コーナー」「雑誌コーナー」の設置等を行い、高校生目線で、本の選定やレイアウトを行い、図書館に足を運んでもらいやすい環境作りを行った。</li> </ul>						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方や、生徒に読みたい本をリクエストしてもらい、優先的に購入した。予算内で買えない本などは、みやき町立図書館で購入してもらった。</li> <li>・毎学期の多読者には、次の学期の貸出数をプラス1冊多くして、表彰した。</li> <li>・毎月、図書館だよりを発行し、「新刊本」「本屋大賞」「芥川賞」「直木賞」等の紹介をした。また、「教育実習生号」は生徒図書委員が教育実習生に「お薦めの本」をインタビューして作成した。</li> </ul> <p>②文化祭「養基祭」での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生に読んで欲しい本を図書委員が先生方にインタビューし、広用紙にまとめ、文化祭で「先生方のおすすめ Book」として掲示した。</li> <li>・図書委員で好きな本のPOPを作成し、文化祭で「POPコンクール」を開催。好きなPOPに投票してもらい、表彰した。</li> <li>・図書室で購入した雑誌で廃棄する分を「古本市」として、文化祭で配布した。</li> </ul> <p>③学校行事での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生への図書館オリエンテーションでは、図書室の使い方案内と、「とにかく読もう」に掲載の本の紹介を行った。</li> <li>・図書委員が「討議の柱のワークシート」を作成し、各クラスで司会を務め、各学年の指定図書について、校内読書会を実施した。</li> </ul> <p>④授業での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の「現代の国語」の授業でビブリオバトル大会を実施し、各クラスの「チャンプ本」をバトルで決めた。</li> <li>・読書感想文コンクールに応募した。美術選択者は、読書感想画にも取り組んだ。</li> </ul> <p>⑤地域との取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやき町立図書館「にくきゅう文庫」へのリクエスト</li> <li>・三養基高校生が文化祭で作ったPOPと手作りのPOP立てを寄贈し、みやき町立図書館で利用してもらった。また、POPは「九州大谷短期大学POPコンテスト」へも応募し、優秀賞を受賞。</li> <li>・みやき町立図書館より「中高生へのおすすめ本」「本で学ぼうSDGs」の案内パンフレットをもらい、全員に配布。</li> </ul>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>生徒の多くは、日頃の勉強や部活動などで忙しく、なかなか読書に取り組むことができていない。しかし、「POPコンクール」や「ビブリオバトル」などの取り組みには関心が高いことが分かった。特に生徒主体の取り組みでは、高校生のアイデアが盛り込まれており、自主的に、楽しく取り組む姿勢が見られた。これからも、読書活動のみならず、様々な取り組みを取り入れながら、読書のきっかけを提供していきたいと思った。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>これまでに「BOOK POINT カード」を導入し、目標冊数に達した生徒には、雑誌などの付録をプレゼントする取り組みを行った。これからも生徒主体の取り組みを行っていききたい。また、地域の図書館と連携を図ることで、図書室を読書や学習、情報収集、心を癒やす場として活かしていきたい。</p>

### ①雑誌コーナー・ミステリーコーナー（図書委員の生徒が作成）



↑最新号が目にとまるように、入口を入ってすぐのところに設置。



手に取ってもらいやすいように、初心者向けや、実写化された本、人気のある本などを厳選し、特別コーナーを設けた。



### ②人気の本紹介コーナー



新刊本や本屋大賞、芥川賞や直木賞など、注目の本を集めてカウンター付近に設置することで生徒が手に取りやすいようにしている。人気な本が多く、ほとんど貸し出し中の状態のこともある。

### ③文化祭「養基祭」での取り組み

本のPOPやPOP用のスタンド作成し、POPコンクールを実施した。多くの人に参加して下さった。また、先生方のおすすめBOOKについてアンケートをとり、まとめ、掲示した。先生方のおすすめ本が気になる生徒も多いようだった。



POP&POPスタンド↑



図書委員の活動の様子↑



古本市↑



先生方のおすすめ本とコメント↑



④学校行事・⑤授業での取り組み



校内読書会（各クラスで）の様子  
図書委員の司会により、活発な意見交換が行われた。



授業におけるビブリオバトル大会

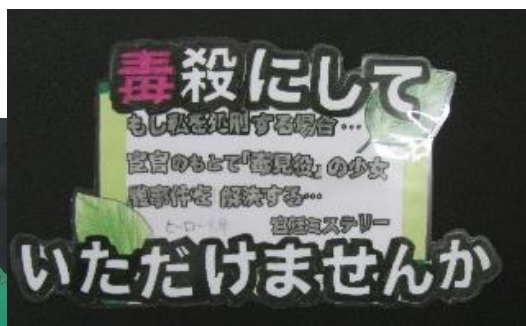
生徒のリクエスト本に responding to くださる「にくきゅう文庫」

⑥地域との取り組み



←みやき町立図書館へ↑  
文化祭の時に作成した手作りPOPとPOPスタンドを寄贈。  
大変喜んでくださった。

↓「九州大谷短期大学 POP コンテスト」応募作品↓



入賞作品↑



☆今後も様々な取り組みを通して、生徒が図書に触れる機会を少しでも多く提供し、図書館に足を運んでくれる生徒を増やしていきたいと考えている。